

「東大卒業生のキャリアに関する調査」基礎的分析結果 II

2023 年 4 月

東京大学大学院教育学研究科比較教育社会学コース教授 本田由紀

※本調査の概要（調査時期等）は、先に以下の URL で公表した「基礎的分析結果 I」に記載してあります。

<https://www.p.u-tokyo.ac.jp/archives/5251>

【主な結果】

1. 現在の仕事の性質（有職者）

- ・現在の仕事の性質を肯定的に評価する回答が総じて多い。
- ・男性は自身の性別による不利さと有利さのいずれについても「まったく当てはまらない」と感じている割合が女性よりも多い。

2. 東京大学に入学した理由

- ・入学理由として多いのは「学びたい学問分野があったから」「有名な大学だから」「仕事をする上で有利だから」などであり、前者は女性でやや多く、後二者は男性でやや多い。男性では、「教員に勧められた」「高校の先輩や同級生が進学していた」「就職先がよいから」といった理由も女性よりやや多いのに対し、女性では「指導を受けたい教員がいた」「家族や親族に出身者がいた」といった理由が男性よりやや多い。

3. 高校までの様子

- ・好奇心の強さ、勉強方法の工夫などの項目の肯定率が高い。
- ・読書および海外経験については女性の方が男性より肯定率がやや高く、友だちの多さについては男性の方が女性より肯定率がやや高い。

4. 小学生の頃までの保護者の育て方

- ・「読み聞かせをした」「博物館や美術館に連れて行った」「自然体験をさせた」「勉強を教えた」「スポーツや習い事をさせた」など、多くの項目で女性の方が男性より肯定率が高い。
- ・母親の就労状態は世代間の差が大きく、男女間の差はない。

5. 現在の自分自身

- ・ポジティブな諸項目の肯定率は総じて高い。
- ・自分の性別に合わせたふるまいをするようこころがけている度合いは年配層の男性で特に高い。
- ・年配層の女性は学び続けている度合いが高い。

6. 社会に対する考え方

- ・競争や努力主義を肯定する度合いは男性が女性よりも明確に高い。
- ・再分配や福祉充実の肯定率は若年層よりも年配層で、また男性よりも女性で高い。
- ・若年層は年配層よりも「社会を変えられない」と思う度合いが高く、また仕事よりも自分の時間を大切にしたいという意識が強い。
- ・男性は働くべきという規範の肯定率は女性の方が明確に低い。女性の家事育児責任の肯定率は年配層では男性で高いが、若年層では男女ともに否定的回答が多い。
- ・社会運動や労働運動への関心、「日本では男女間の不平等が大きすぎる」という意識は女性の方が高い。

7. 配偶者を選んだ時に重視したこと（既婚者）

- ・価値観が近いこと、教養が豊かであること、こちらの仕事に理解があることなどの項目で重視度が高い。
- ・多くの項目で女性の方が重視度が高い。

8. 配偶者に当てはまること

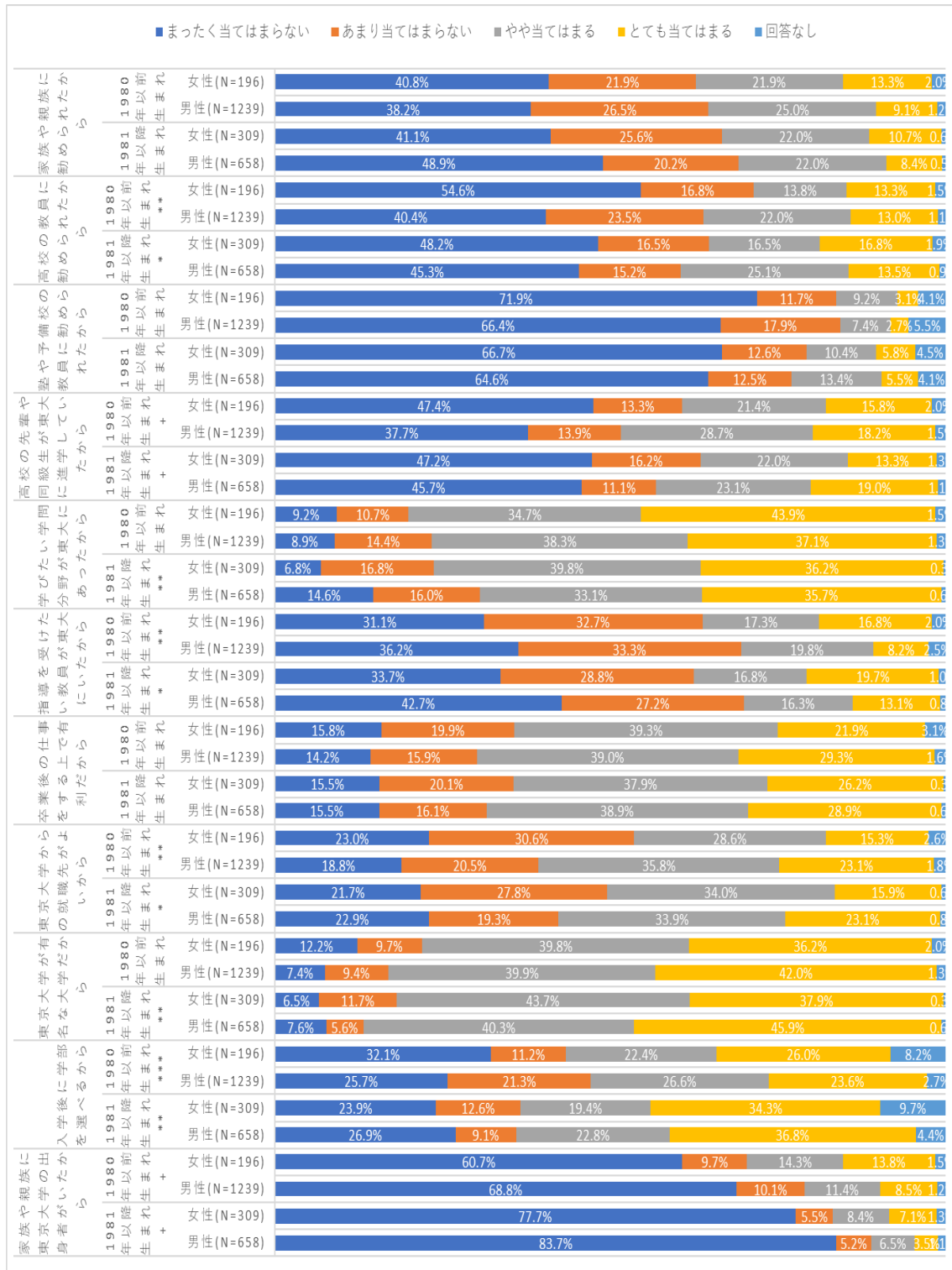
- ・「あなたの意見を尊重してくれる」「家庭よりも仕事を重視する」は女性の肯定率が男性よりも高く、「家事を積極的に担当してくれる」は男性の肯定率のほうが高い。

9. 東京大学の社会人教育への期待

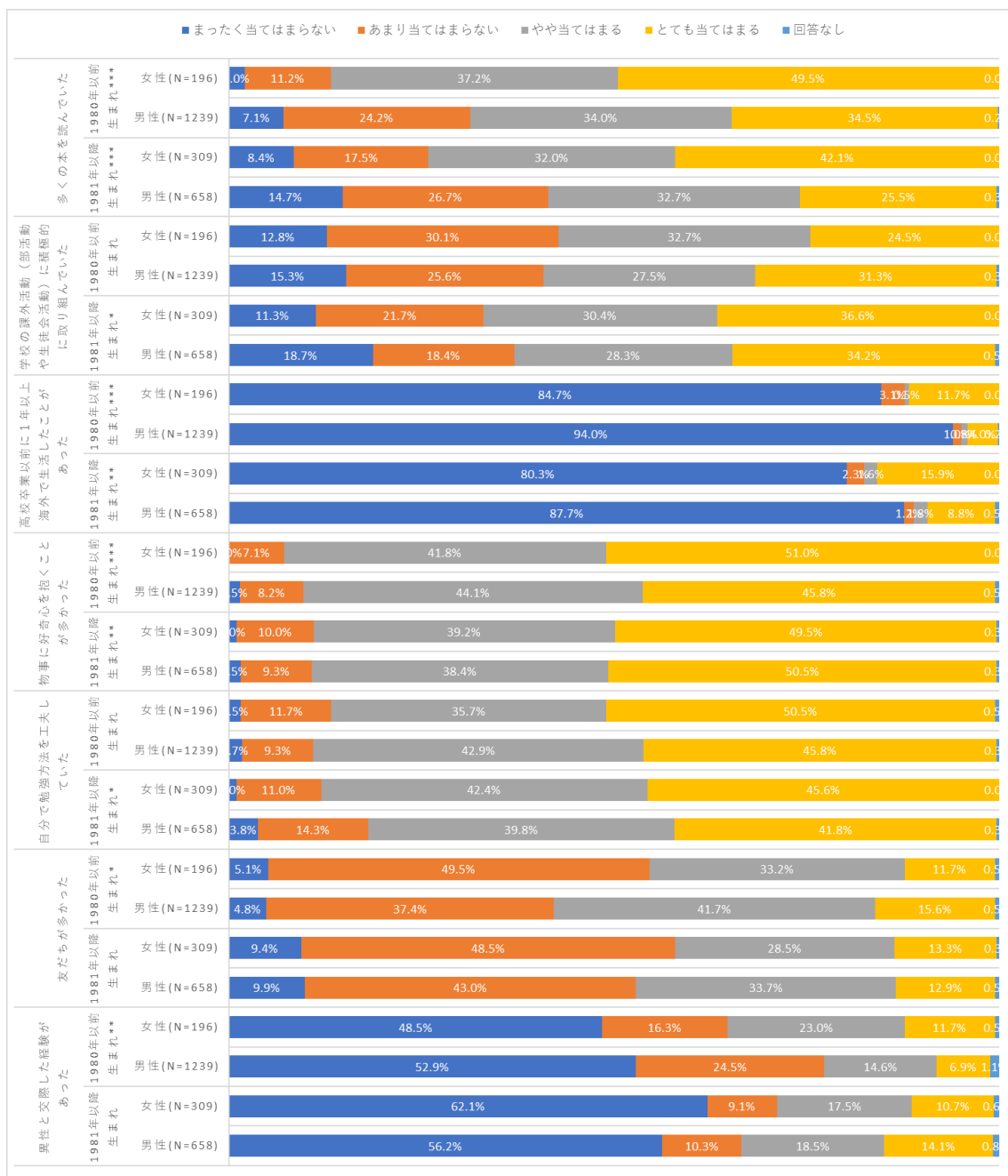
- ・オンラインで学べるプログラムや教養を高められる教育へのニーズが高い。
- ・若年層では年配層よりも、週末等を利用した学位取得コースへのニーズが高い。

		年代		性別		回答内容				
						■ 大々々々々々々々々々	■ あまり当てはまらない	■ やや当てはまる	■ とても当てはまる	■ 回答なし
東京大学（大学院）を卒業（修了）したという学歴が、あなたの職業や仕事に役立っていると感じる	感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	27.7%	36.3%	36.3%	59.9%	0.0%		
			男性(N=978)	25.3%	35.5%	35.5%	57.6%	0.4%		
		1981年以降生まれ	女性(N=287)	1.1%	10.8%	46.7%	40.4%			
			男性(N=628)	3.0%	10.5%	44.6%	41.9%			
	感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	7.7%	13.2%	35.7%	47.3%	1.1%		
			男性(N=978)	3.8%	8.2%	39.1%	47.9%	3.6%		
		1981年以降生まれ	女性(N=287)	1.1%	6.3%	44.6%	46.0%	1.0%		
			男性(N=628)	6.6%	6.8%	43.6%	46.8%	1.1%		
	感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	7.7%	7.7%	40.7%	48.4%	0.5%		
			男性(N=978)	1.0%	16.6%	41.1%	39.8%	0.5%		
		1981年以降生まれ	女性(N=287)	4.4%	17.8%	37.3%	42.5%	0.0%		
			男性(N=628)	5.5%	14.6%	36.3%	46.3%	0.2%		
感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	7.7%	8.8%	35.7%	52.7%	0.0%			
		男性(N=978)	1.9%	9.0%	33.3%	58.6%	1.0%			
	1981年以降生まれ	女性(N=287)	8.8%	9.8%	43.9%	43.2%	0.3%			
		男性(N=628)	4.4%	8.9%	37.9%	50.5%	0.3%			
感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	1.5%	5.5%	28.6%	64.8%	0.0%			
		男性(N=978)	0.6%	9.6%	29.4%	64.6%	0.3%			
	1981年以降生まれ	女性(N=287)	3.8%	11.8%	39.7%	44.3%	0.3%			
		男性(N=628)	7.7%	10.0%	36.8%	50.3%	0.2%			
感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	6.0%	20.3%	31.9%	41.8%	0.0%			
		男性(N=978)	9.9%	19.8%	34.6%	35.1%	0.6%			
	1981年以降生まれ	女性(N=287)	16.4%	24.7%	28.6%	30.3%	0.0%			
		男性(N=628)	14.5%	26.0%	31.5%	27.9%	0.2%			
感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	7.7%	9.9%	46.2%	36.8%	4.4%			
		男性(N=978)	2.2%	9.7%	47.5%	36.4%	4.1%			
	1981年以降生まれ	女性(N=287)	4.4%	9.8%	53.0%	29.3%	5.6%			
		男性(N=628)	8.8%	9.7%	50.0%	36.0%	2.5%			
感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	10.4%	36.3%	35.7%	17.6%	0.0%			
		男性(N=978)	14.5%	39.5%	32.2%	13.0%	0.8%			
	1981年以降生まれ	女性(N=287)	5.9%	39.0%	39.0%	15.7%	0.3%			
		男性(N=628)	10.5%	35.5%	38.1%	15.9%	0.0%			
感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	35.2%	34.1%	21.4%	8.8%	0.5%			
		男性(N=978)	80.4%	16.1%	2.6%	0.0%				
	1981年以降生まれ	女性(N=287)	29.6%	37.6%	22.6%	9.8%	0.3%			
		男性(N=628)	77.7%	18.0%	2.0%	0.0%				
感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	39.0%	40.1%	19.2%	1.8%				
		男性(N=978)	50.3%	33.2%	13.5%	2.0%				
	1981年以降生まれ	女性(N=287)	34.1%	46.3%	17.8%	1.0%				
		男性(N=628)	48.6%	32.5%	15.1%	2.7%				
感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	6.6%	24.7%	34.6%	33.5%	0.3%			
		男性(N=978)	13.3%	25.4%	40.8%	19.7%	0.8%			
	1981年以降生まれ	女性(N=287)	12.5%	27.5%	39.7%	18.8%	1.4%			
		男性(N=628)	15.0%	24.7%	40.0%	19.6%	0.8%			
感じる	1980年以前生まれ	女性(N=182)	59.9%	23.1%	11.0%	4.9%				
		男性(N=978)	70.2%	21.9%	6.1%	0.8%				
	1981年以降生まれ	女性(N=287)	62.7%	27.5%	7.7%	1.0%				
		男性(N=628)	76.0%	18.3%	4.1%	0.5%				

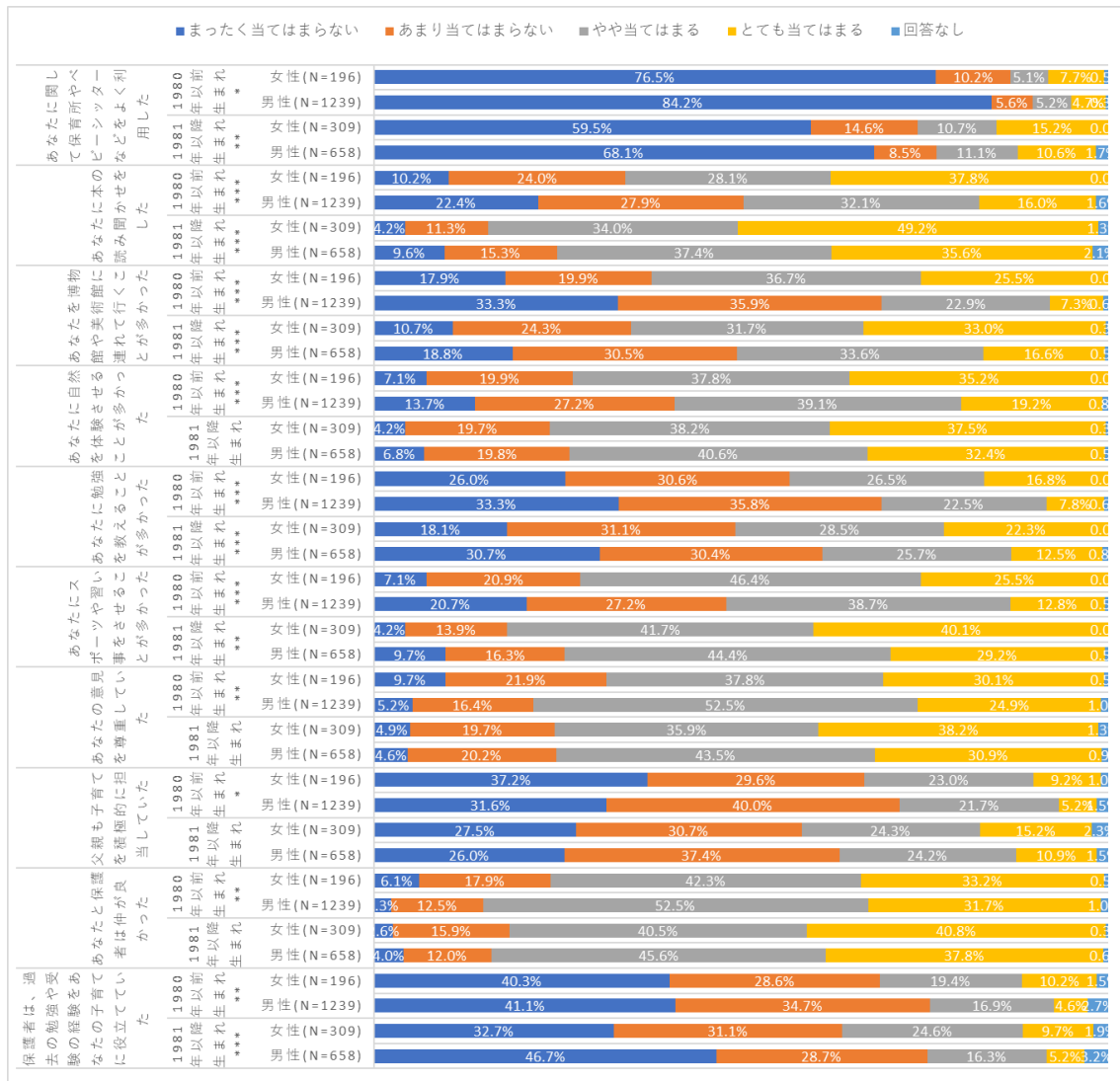
2. 東京大学に入学した理由



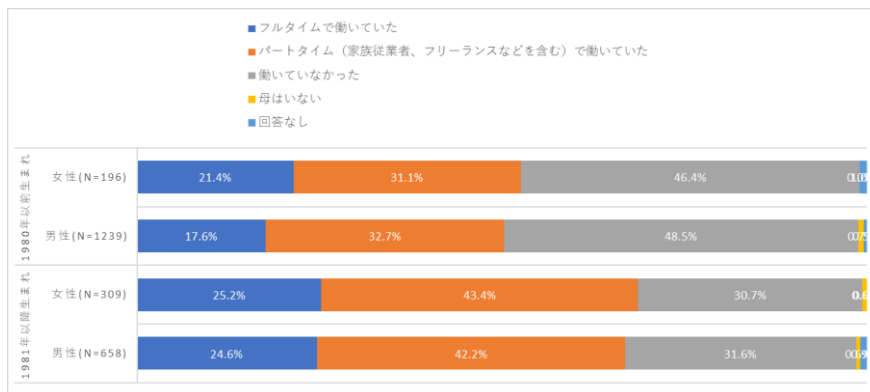
3. 高校までの様子



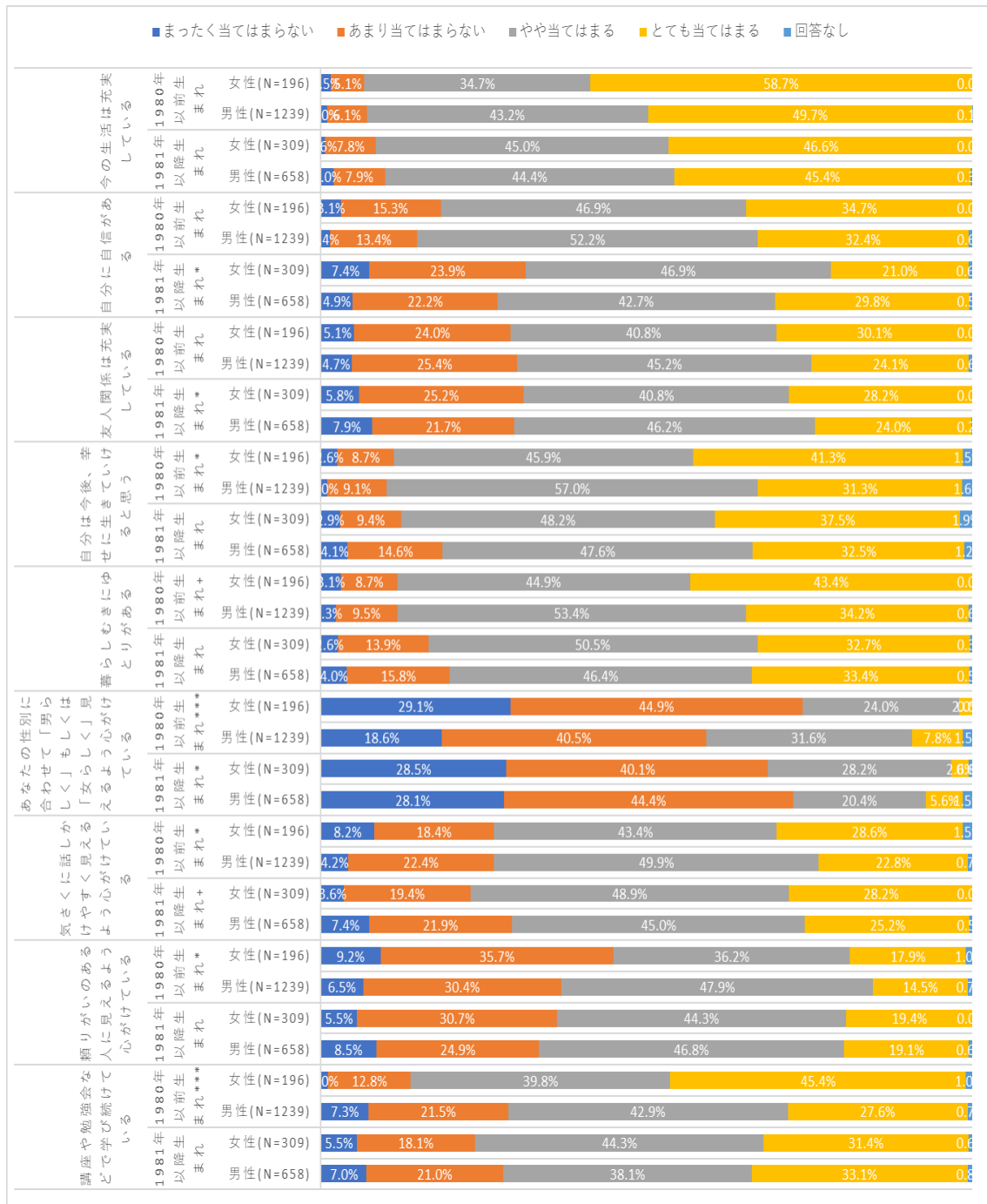
4. 小学生の頃までの保護者の育て方



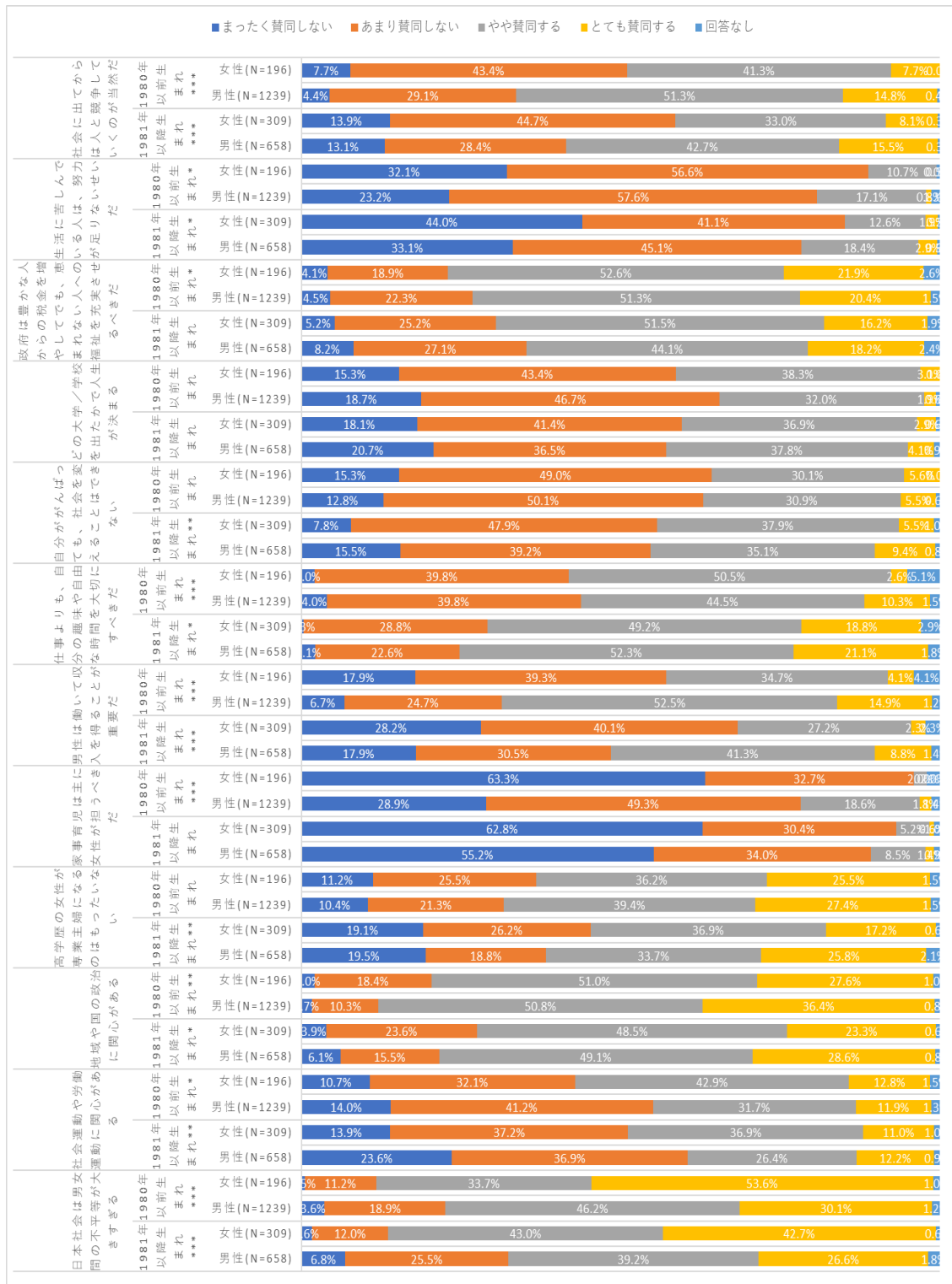
高校生の頃の母親の就労状態



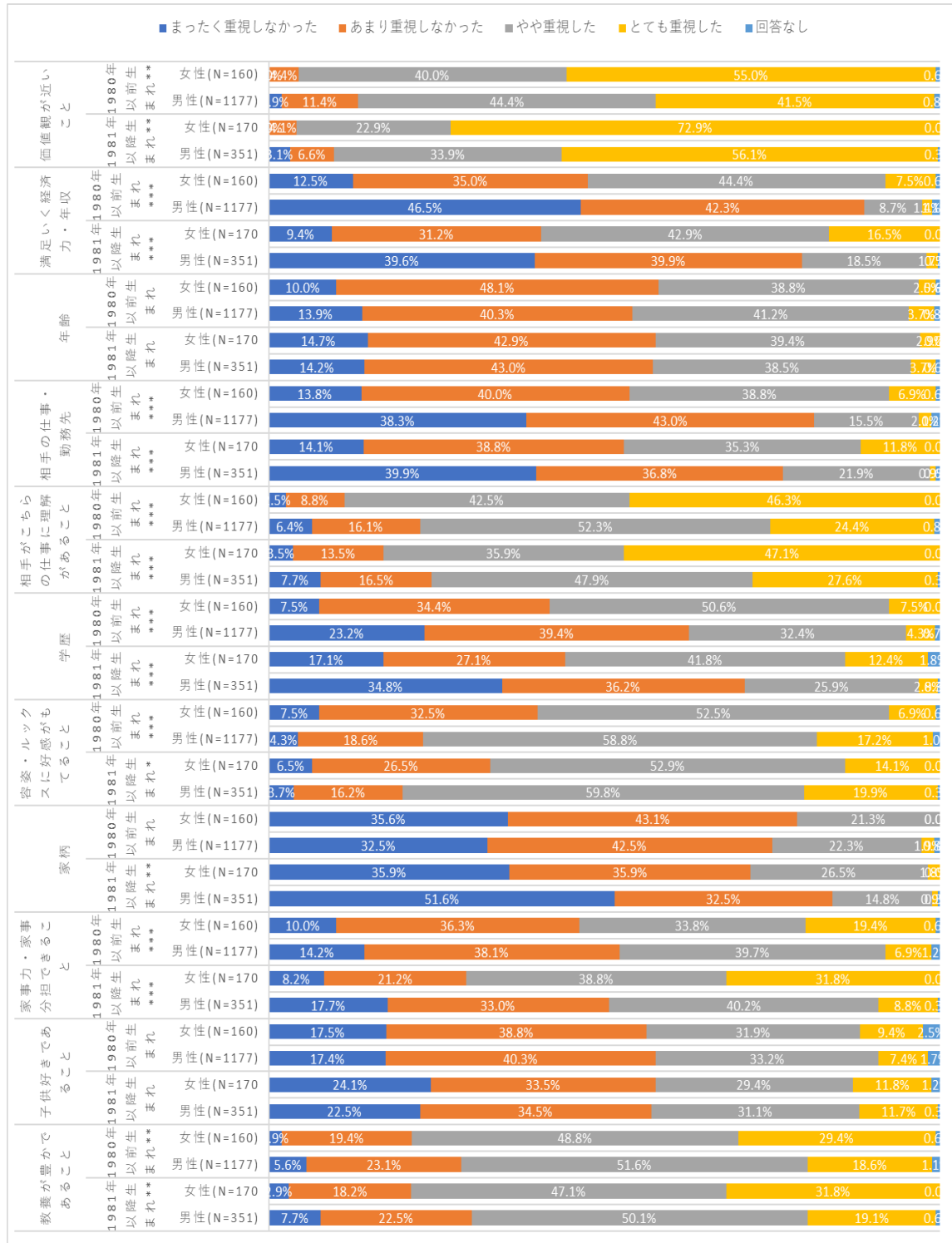
5. 現在の自分自身



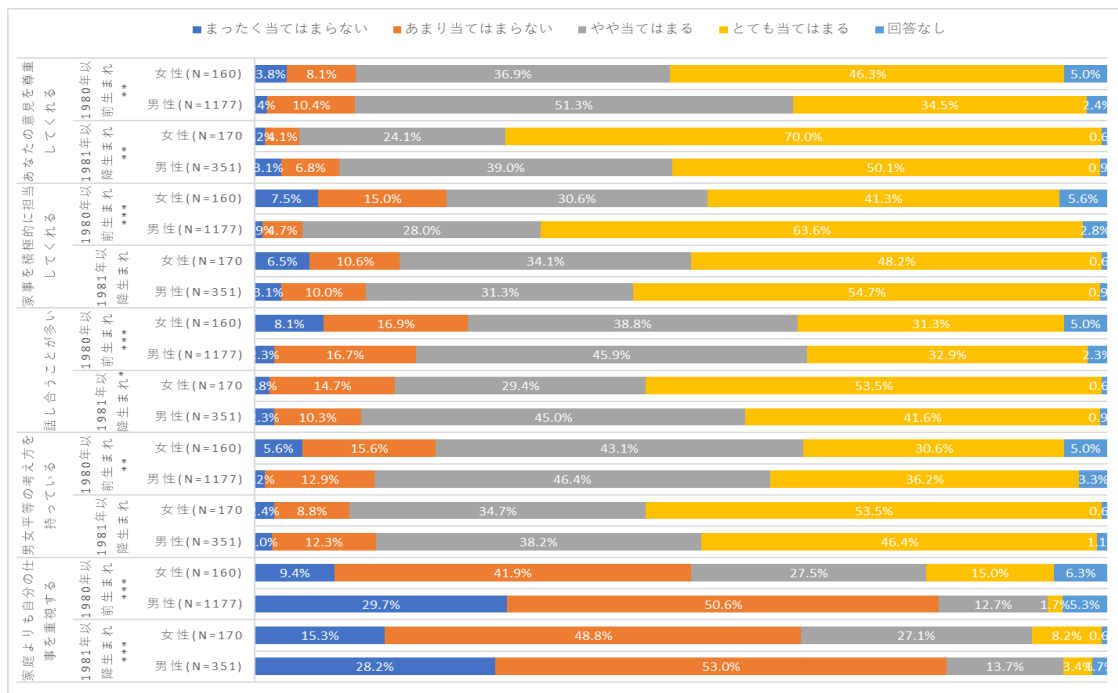
6. 社会に対する考え方



7. 配偶者を選んだ時に重視したこと（既婚者）



8. 配偶者に当てはまること



9. 東京大学の社会人教育への期待

